

One day, a woman was in front of her shop talking to another shop owner. They were upset because someone had sprayed graffiti on their shops' shutters. The woman complained to the other shop owner that it was not the first time it had happened. Later, at a shop-owners meeting, there was a discussion about possible solutions to the graffiti problem on the shopping street. The shop owners were talking about two suggestions written on the board — the introduction of security cameras or street patrols — but could not decide what to do. That night, the woman was at home reading a book. She was sitting beside her son, who was drawing a picture of a horse. This gave her an idea about how to solve the graffiti problem. A month later, on the shopping street, the woman and the other shop owner looked on as some young children painted pictures of animals on the shutters of the shops.

**解答例の訳** ある日、一人の女性が自分の店の前で、別の店のオーナーと話をしていました。誰かに店のシャッターにスプレーで落書きをされて、二人とも腹を立てていました。その女性は、話をしていたオーナーに、こうしたことが起こるのは今回が初めてではないと不満を口にしました。しばらくして、店のオーナーが集まる会議の席で、商店街の落書き問題に対する実現可能な解決策はないかと議論がなされました。オーナーたちはボードに書かれた2つの案について話をしていました。1つは監視カメラを導入することで、もう1つは商店街のパトロールをすることでしたが、どうしたらよいかという結論には至りませんでした。その日の晩、その女性は家で本を読んでいました。彼女は息子の隣に座っていて、その息子は馬の絵を描いていました。それを見て、彼女は落書き問題を解決するアイデアを思いつきました。1ヶ月後、商店街ではその女性と以前話をしたオーナーが、子供たちが店のシャッターに動物の絵を描いているのを眺めていました。

**解説** この問題では、3コマ目で女性が息子の絵からひらめきを得る点がポイントになるだろう。ナレーションの際に押さえるべき点は、①商店街ではオーナーたちがシャッターの落書きに困っていた、②オーナー会議で話し合ったが良い結論が出なかった、③自宅で子供のお絵かきを見て解決策をひらめいた、④商店街のシャッターに動物の絵を子供たちに描い

One day, a couple was sitting in their living room. The woman showed her husband a brochure about hot springs and suggested that they go to one. The man thought it was a great idea and pictured the family having a nice meal. That weekend, however, at the hot-spring resort, things did not go as well as the couple had hoped. While the couple was having dinner, their child would not stop crying, and this seemed to bother the other guests. A few weeks later, the husband searched on the Internet and found a website advertising tours that were aimed at families. He asked his wife what she thought, and she seemed interested. In the summer, the family went on a tour to a farm. There were many other families there, too. Although one family's child was crying, no one seemed to mind, and the couple was able to have a good time with their child.

ある日、1組の夫婦が居間に座っていました。女性は夫に温泉のパンフレットを見せて、どこかに行こうと話しました。男性は良いアイデアだと思い、家族が楽しく食事をしている場面を思い描きました。しかしその週末、温泉リゾート地でその夫婦が期待したようには事は進みませんでした。夕食を食べている最中にどうしても子供が泣きやまず、ほかの客に迷惑をかけたようでした。数週間後、夫はインターネットを調べていて、家族向けの旅行を紹介しているウェブサイトを見つけました。彼は妻にどう思うかと尋ねたところ、妻も興味を持ったようでした。その年の夏、家族は農場への旅行に出掛けました。そこにはほかの多くの家族も来ていました。ある家族の子供が泣いていましたが、誰も気にしていないようでした。夫婦は子供とともに大変楽しいひと時を過ごすことができました。

この問題では、2コマ目と4コマ目で泣いている子供に対する周囲の人々の様子の対比がポイントになるだろう。このナレーションでは、①家族で楽しく温泉旅行に行こうと話していた、②旅行先で食事中に子供が泣き出し、気まずい思いをした、③インターネットで家族向けの旅行を発見した、④農場を訪れたが、どの家族も子供連れて、楽しく過ごすことができた、といった流れを押さえることが大切である。その中でも特に、4コマ目で泣いている子供に対する周囲や両親の様子については、ぜひともナレーションで触れておきたい点である。

**解答例** One day, a young woman was at home in the countryside. When she opened the mailbox, there was a letter for her. It said that she had been offered the job. The young woman was excited and imagined herself living in the city. That afternoon, the young woman told her mother about the offer. Her mother warned her that living in the city was hard, but the young woman said she would be OK. One month later, the young woman was working late at her new job in the city. Even though she had some work to do, she was tired and decided to leave anyway. However, she was not looking forward to going home on a crowded train. Six months later, the young woman was talking to her mother on the phone. She explained her concerns and said she was thinking of quitting her job. Her mother seemed worried when she heard this.

**解答例の訳** ある日、若い女性が田舎の自宅にいました。郵便受けを開けると、彼女あての手紙がありました。その手紙には、彼女は仕事に採用されたと書かれていました。若い女性は興奮し、都会で暮らしている自分を想像しました。その日の午後、若い女性は母親にその仕事について話しました。彼女の母親は、都会での暮らしは大変だと彼女に警告しました。しかし、その若い女性は、自分は大丈夫だと言いました。1カ月後、その若い女性は都会での新しい仕事場で夜遅くまで働いていました。まだやるべき仕事は残っていたけれど、彼女は疲れ果て、とにかく帰ることにしました。しかし、満員電車で家に帰ることはしたくありませんでした。6カ月後、その若い女性は電話で母親と話をしていました。彼女は自分の心配事を説明し、仕事を辞めることを考えていると話しました。これを聞いた母親は心配そうでした。

**解説** このナレーションで押さえておくべき点は次の4点である。①田舎に住んでいる女性が、都会の会社からの採用通知を受け取ったこと、②その日の午後、母親に相談したところ、都会での生活は大変だと心配そうに言われたが、自分は大丈夫だと女性が言ったこと、③1カ月後、残業で疲れ果てて女性が帰ろうとしていること、その際、満員電車で帰ることにはうんざりとしていること、④6カ月後、女性が母親に電話をし、仕事を辞めることを考えていると話していること。特に、that afternoon, / one month later, / six months later, などの時間を表す語句を使い、場面が変わるたびに、女性が想像していなかった方向に事態が展開して

**【語彙】** One day, a man was having a checkup at his doctor's office. The doctor told him that he needed to watch his weight, and the man was concerned when he heard this. A few days later, on his way home from work, he saw a sign on a message board. It was inviting people to join a running club. The man thought that it would be a good way to get himself fit and healthy, so he decided to join. That Saturday, the man went running along a river with some other runners from the club. The man was determined and tried hard to keep up with them. The next day, however, he was sitting at home with a bandage wrapped around his knee. The man was in quite a bit of pain. His wife was worried and told him that the injury was from running too hard the day before.

**【解答例の訳】** ある日、男性が診療所で健康診断を受けていました。医者は彼に、体重に気をつけるように言い、男性はそれを聞いて心配になりました。2, 3日後、仕事からの帰り道、彼は掲示板に張り紙を見付けました。それはジョギングクラブへの勧誘でした。男性は、体型を保ち、健康であるためには良い方法であると考え、そのクラブに加入することにしました。その週の土曜日、男性はクラブのほかのメンバーとともに川沿いを走りました。男性は決意して、ほかの人に何とかついていこうと懸命に努力をしました。しかし翌日、彼はひざに包帯をして家の中で座っていました。男性はとても痛みを感じていました。彼の妻は心配をして、彼にそのけがは前日に頑張って走りすぎたためだと話しました。

**【解説】** このナレーションでは、①男性が医者から体重管理をすることを助言されたこと、②2, 3日後、男性が掲示板でジョギングクラブの案内を見かけ、入ってみようかと考えたこと、③その週の土曜日、男性が少し無理をして頑張って走ったこと、④翌日、男性がひざに包帯を巻き、痛みを我慢していること、その際妻が、「頑張り過ぎ」と心配そうに言っていること、といった点を押さえることが重要である。特に、3番目の絵で男性が無理をして頑張っている様子、そして4番目の絵で、意に反してひざを痛めてしまったこと、などを強調するとより効果的である。

**解答例** One evening, a young businessman was working in his office. While there, he received a phone call from his father. The father asked his son if he could come over and help out on the family farm that weekend. The young man thought it was a good idea. On the weekend, the young man went to his parents' farm and helped them with the apple harvest. He stood on a ladder picking apples that were difficult to reach. He seemed to enjoy the work, and his parents were really grateful to have him around. That evening, however, while the family was having dinner together, the young man's mother told him that they were getting too old to keep running the farm. On his way home, the young man thought about what his mother had said. He wondered whether he should continue working at his office or consider taking over the family farm.

**解答例の訳** ある晩、若い会社員が職場で仕事をしていました。その時、彼は父親からの電話を受けました。父は息子に、週末に戻って来て実家の農園を手伝えるかどうかと尋ねました。その若者はそれは良い考えだと思いました。その週末、若者は両親の農園へと出向き、一緒にりんごの収穫を手伝いました。彼ははしごの上に乗って、手の届きにくいりんごをもぎ取りました。彼はその作業を楽しんでいるようで、両親も彼がいてくれることに心から感謝していました。しかし、その日の晩、家族が共に夕食を取っている時、自分たちは年を取ってきたので農園を続けていくことが大変になってきたと、母親が彼に話しました。自宅に戻る途中、若者は母親が言ったことについて考えました。彼は、現在の仕事を続けるべきか、あるいは実家の農園の跡を継ぐことを考えるべきかを思案しました。

**解説** ナレーションの評価の際に重視されるのは、ストーリーを論理的に展開できているかということである。この問題では、①職場で仕事中に父親からの電話があり、週末にりんごの収穫作業の手伝いに帰って来られるかどうかと聞かれた、②週末に収穫作業の手伝いに帰省した、③その日の晩の夕食で、母親から年を取ったので農園を続けていくことが困難だと告げられた、④自宅に戻る途中に、今の会社勤めを続けるべきか、あるいは実家のりんご農園を引き継ぐべきかと思案していた、という展開になっている。基本の流れを押さえつつ、イラスト中の表現も参考にしながら適宜情報を補って、ストーリーの展開を膨らませたい。

**解答例** One day, a woman biked to the station because she had to baby-sit for her sister. When she arrived at the station, she looked at her watch. Her train was about to come, so she quickly locked up her bike. At her sister's house, the woman held her sister's baby while she was about to leave. The sister gave the woman a list of things to buy. Later that day, the woman put the baby in a stroller and went to do the shopping. When she arrived at the supermarket, however, she was annoyed to see that two boys were leaving their bikes right in front of the slope she needed to use. She would have to move them to get into the supermarket. That evening, on her way home, the woman went to get her bike. After unlocking the bike, she was shocked to see that she had left it in an area where bikes should not be parked.

**解答例の訳** ある日、一人の女性が、姉の赤ん坊の面倒を見なければならなかったので、駅まで自転車でやってきました。駅に着いた時、彼女は時計を見ました。自分の乗る電車が来そうだったので、彼女は急いで自転車の鍵を掛けました。姉の家では、姉がちょうど出掛けようとしていたところで、女性は姉の赤ん坊を預かりました。姉は女性に買ってほしい品物のリストを手渡しました。その日しばらくしてから、女性は赤ん坊をベビーカーに乗せて、買い物へと出掛けました。しかし、スーパーマーケットに着いた時、2人の男の子が、彼女が利用したかったスロープの真ん前に自分たちの自転車を置いていくのを見て腹立たしく思いました。女性はスーパーマーケットに入るのに、その自転車を移動しなければなりませんでした。その日の晩、自宅へ戻る際に、彼女は自分の自転車を取りに行きました。自転車の鍵を外した後で、自分が駐輪禁止区域に自転車を止めていたことに気付いて、彼女は驚きました。

**解説** この問題では、4コマ目で女性が驚くに至る過程がポイントになるだろう。ナレーションの際に押さえるべき点は、①電車に間に合うよう急いで駐輪した、②姉の子供を預かり、買い物リストを受け取った、③スーパーで少年たちの迷惑駐輪のためにスロープが使えず腹を立てた、④帰り際に自分が駐輪禁止区域に駐輪していたことに気付き驚いた、ということである。特に、買い物の際に迷惑駐輪で被害を受けた女性が、自分自身でも駐輪禁止区域に駐輪していたことにショックを受けるという流れは、ぜひひとも押さえたいところである。

One weekend, a woman was talking to her husband about buying a computer. While their son was outside playing catch with his friend, the mother showed her husband a book about computer education for children. She thought that their son should start learning how to use a computer. The next week, the mother showed her son how to use the computer they had bought for him. The son seemed to be really enjoying himself. A few days later, the son's friend came over to play catch. Instead, the son suggested that his friend come inside and try out his new computer. A month later, on a beautiful sunny day, the son and his friend were inside the house using the computer again. As the boy's parents looked on, the father expressed his concern. He told his wife that he was worried because their son and his friend rarely played outside anymore.

ある週末、女性は夫にコンピューター購入について話をしていた。外で息子が友達とキャッチボールをしている間に、彼女は子供のためのコンピューター教育についての本を夫に見せていた。彼女は、息子がコンピューターの使い方を習い始めるべきだと考えていた。次の週、母親は息子のためにコンピューターを買い、その使い方を息子に教えた。息子は本当に楽しんでいるようであった。数日後、息子の友達がキャッチボールをしようと家を訪ねてきた。キャッチボールをする代わりに、息子は友達を家に招き入れ、彼の新しいコンピューターを使ってみようと誘った。1カ月後、気持ち良く晴れ渡った日に、息子と彼の友達は、家の中で再びコンピューターを使ってていた。その様子を少年の両親が眺めているとき、父親は彼の心配事を口にした。彼は妻に、息子と彼の友達がめったに外で遊ばなくなつたので心配だと語った。

このナレーションで押さえておくべき点は次の4点である。①母親が子供のためのコンピューター教育に関心を抱いており、その必要性を夫に説明したこと（その際、窓の外で元気に彼女の息子が友達とキャッチボールをして遊んでいたことも描写しておきたい）、②翌週、息子のためにコンピューターを買い、母親が使い方を子供に教え始めたこと、③数日後、キャッチボールをしようと誘いに来た友達に、息子がコンピューターを使って遊ぶことを提案したこと、④1カ月後、息子がほとんど外に出て遊ぶことがなくなり、それを両親がとても心配していること。以

One evening, a restaurant owner was working at his restaurant. Suddenly, one of his customers called him over. The man complained that the people at the next table were taking photos and disturbing him and his wife while they were having dinner. Later that night, after the owner had returned home, he read a newspaper article that said people's public manners were getting worse. It reminded him of what had happened earlier that evening. The next week, the owner put up a sign that said no photos would be allowed to be taken in his restaurant. That way, he hoped that his customers would be able to enjoy their dinner in a nice, relaxed atmosphere. A few days later, however, the owner faced an unexpected problem at his restaurant. An elderly couple asked him to take a picture of them as it was their 40th wedding anniversary. The owner was not sure what he should do.

**解答例の訳** ある晩、レストランのオーナーは自分の店に出て働いていた。突然、客の一人が彼を呼び、せっかく夫婦で夕食を食べているのに、隣の客が写真を撮り、それが自分たちの邪魔になっていると不平を述べた。その夜オーナーは家に帰り、人々の公共のマナーが悪くなってきてているという新聞記事を目にした。その記事は、その晩に起こった出来事を彼に思い出させた。翌週オーナーは、レストラン内では撮影禁止という張り紙をした。そうすることで、お客様がリラックスした良い雰囲気でディナーを楽しめることを彼は願った。しかし、数日後、オーナーはレストランで予期せぬ問題に直面した。年配のカップルが、結婚40周年の記念に写真を撮ってくれるように彼に依頼をした。オーナーはどうすべきか分からなかった。

**解説** このナレーションでは、①レストランの中で周りの迷惑を顧みず、写真を撮っている客がいたこと、そしてそれに関してほかのお客がオーナーに不平を述べていたこと、②オーナーが家に帰り、公共のマナーが悪化してきているという新聞記事を読み、その晩に起こった出来事を思い出したこと、③翌週、レストランの良い雰囲気を保つために、オーナーがレストラン内での写真撮影を禁止する張り紙をしたこと、④その数日後、老夫婦が結婚40周年の記念に写真を撮ってほしいとオーナーに依頼し、オーナーがどうしたらよいか困ってしまったこと、といった点を押さえ

One evening, a couple were talking in their living room. They were looking at a pamphlet introducing the private school they wanted to send their daughter to. They were concerned about the expensive school fees. However, the woman suggested to her husband that she could get a job to help cover the cost. The next week, the woman went for a job interview at a supermarket. She showed the interviewer her résumé. The interviewer told the woman that she would have to work in the evenings, but she didn't seem to mind. A month later, the woman and her husband took their daughter to the entrance ceremony for the private school. The parents looked very proud. On weekday evenings from then on, however, after the woman had prepared her daughter's meal, she had to leave to work at the supermarket. Her daughter seemed to be sad that they could not eat together anymore.

ある晩、1組の夫婦が居間で話をしていました。彼らは娘を入学させたいと考えている私立学校を紹介する小冊子を見ていました。彼らは高い授業料について心配していました。しかし、費用の一部を補うために仕事をしてもよいと女性が夫に提案しました。次の週、女性はスーパーマーケットの採用面接試験に出掛けました。彼女は面接官に履歴書を見せました。面接官は女性に、夕方に勤務しなければならないだろうと伝えましたが、女性は気にしていないようでした。1カ月後、女性と夫は娘を私立学校の入学式に連れて行きました。両親はとても誇らしげでした。しかし、それ以降平日の夕方は、女性は娘の夕食の支度をした後で、スーパーマーケットでの仕事に出掛けで行かなければなりませんでした。娘は、今後一緒に食事ができないということで、悲しそうでした。

今回のストーリーの流れは、①私立校の授業料のために母親が仕事を出る決意をする、②翌週、面接で夕方勤務の条件を受け入れる、③1カ月後に家族で入学式に出席、④平日は毎日夕方勤務のため、娘が一人で寂しく食事をすることになる、ということである。上記の4点を踏まえて論理的にストーリーを展開すればよいのだが、その中でも特に2コマ目で「面接官の夕方勤務の条件提示に対して、母親があまり気にしていない」とこと、それによって4コマ目で「平日の夕方は毎日娘が寂しい思いをする結果が生じている」という因果関係は必ず触れるようにしたい。

One day, a young man was called in to his boss's office. His boss told him that he would be assigned to work in the sales section of the company. The man did not expect this and was a little disappointed because he was hoping to work in the research section. A few months later, the young man was busy in the sales section working on reports and taking calls until late at night. That weekend, he met up with some of his friends and had a drink in a restaurant. He listened as one of his friends said that he liked his work even though it was quite challenging. The other person said he felt the same way. The following week, the young man had a meeting with his boss to evaluate his progress. His boss asked him how he was getting on with his job. The young man was thinking about how he should answer.

**解答例の訳** ある日、若い男性が上司の部屋に呼ばされました。上司は彼に、会社の営業部に配属されることを伝えました。男性はこのことを期待しておらず、研究部門に勤務することを望んでいたので、少しがっかりしました。数カ月後、その若い男性は報告書を作成したり、電話の応対に追われたりと、夜遅くまで営業部で忙しくしていました。その週末に、彼は数人の友人と会い、レストランでお酒を飲みました。友人の1人が、とても大変だけれども自分の仕事が好きだと言うのを聞きました。もう1人も、同様に感じていると言いました。次の週、若い男性は上司と仕事の進み具合を評価する面談をしました。上司は彼に仕事の調子はどうかと尋ねました。その若い男性はどのように答えたらよいかと考えていました。

**解説** 今回のナレーションでは、4コマ目の男性の表情の読み取りがポイントになろう。流れとしては、①男性が希望に反して営業部に配属された、②数カ月後、営業部で夜遅くまで仕事に追われていた、③週末に友人2人と食事をした際に、仕事は大変だが楽しんでいると言われた、④翌週上司から仕事の様子を聞かれ、答えに詰まってしまった、ということになろう。特に、3コマ目で友人2人の意見を聞いてからの男性の心の揺れが、4コマ目の男性の表情に表れており、思案している様子はぜひナレーションに盛り込みたいポイントである。

No. 1

I'd honestly tell him how I felt. That way, he might be able to give me some advice or even find a way to get me transferred to

07  
年度第3回  
面接

**問題** One day, the principal was walking around the school playground. He saw some boys playing soccer. While he was watching, one of the boys fell and hurt himself on the ground. The principal was very concerned. When the principal got home that evening, he picked up the newspaper and came across an interesting article. It said that grass playgrounds were safer because they caused fewer injuries. The principal thought that he should try it at his school. Six months later, the school had a new grass playground, and the principal was glad to see the children playing safely. However, the next summer, there was a sign saying that the playground was closed for annual maintenance. The grass in some parts of the ground had died, and there was a man working on the damaged area. The principal explained to some disappointed students that they would not be able to use the ground for a month.

**解答例の訳**

ある日、校長は学校のグラウンドの周りを歩いていました。その時彼は何人かの少年がサッカーをしているのを見ました。彼が見ていると、1人の少年がグラウンドで転び、けがをしてしまいました。校長はとても心配しました。その晩、校長は家に帰ると、新聞を広げ、興味深い記事を目にしました。それによると、芝生のグラウンドは、けがをしにくいために安全であるということでした。校長は、彼の学校でもそれを試してみるべきだと思いました。6ヶ月後、学校には新しい芝生のグラウンドが整備されました。校長は子供たちが安全に遊んでいるのを見てうれしく思いました。しかし、次の年の夏、年1回の整備のためにそのグラウンドを閉鎖するという掲示が出されました。グラウンドのところどころの芝生が枯れてしまい、1人の男性が傷んだ部分の修復作業を行っていました。校長は、失望した生徒たちに、1ヶ月間そのグラウンドを使うことができないことを説明しました。

**解説**

このナレーションで押さえておくべき点は次の4点である。①生徒がグラウンドでけがをするところを見た校長がグラウンドの安全性について心配し始めたこと、②校長が、芝生のグラウンドはけがが少ないという新聞記事を見つけたこと、③6ヶ月後に芝生のグラウンドを整備し、子供たちが安全に遊んでいるのを校長が満足げに見ていたこと、④次の夏、整備のためグラウンドが1ヶ月使えないことを、校長が生徒たちに説明

**解答例** One afternoon, a woman was at home watching a TV program with her child. The presenter on the program asked whether the food people were eating was safe. The woman became concerned about her family's health when she heard this. On the weekend, the woman was shopping at a supermarket when she saw some organic vegetables for sale. Above them was a sign that said such vegetables were healthy and safe, so she decided to buy some. That evening, while the family was enjoying dinner at home, the woman explained to her husband that the meal they were eating was made with the organic vegetables she had bought earlier. A month later, the couple and their son were at the supermarket doing their grocery shopping together. The husband was surprised to see how expensive the organic vegetables were compared with the non-organic vegetables. He asked his wife whether they could really afford to eat organic food every day.

**解答例の訳** ある日の午後、女性は家で子供と一緒にテレビ番組を見ていました。その番組の進行役は、われわれが食べている食物の安全性について疑問を投げ掛けていました。その女性は、これを聞いて、家族の健康について心配になりました。その週末に、彼女はスーパーマーケットで買い物をしながら、有機野菜が売られているのを見つけました。それらの野菜の上には、それらが健康的で安全であることを説明した表示が掲げられていました。そこで、彼女はいくつか買うことになりました。その晩、家族が家で夕食を楽しんでいる時に、その女性は彼女の夫に、彼らが食べている食事は、彼女が先ほど買った有機野菜で作られていることを説明しました。1カ月後、その夫婦と彼らの息子は、そのスーパーマーケットで食料品の買い物を一緒にしていました。夫は、有機野菜ではないものと比べて、その有機野菜がいかに高価であるかを知って、驚いてしました。彼は、毎日有機野菜の料理を食べる余裕が彼らに本当にあるかどうかを妻に尋ねました。

**解説** このナレーションでは、①女性がテレビを見て食物の安全性について疑問を抱いたこと、②週末にスーパーマーケットで有機野菜を見つけ、早速それを購入したこと、③その晩、食卓で有機野菜を使った夕食を家族が楽しんだこと、④1カ月後に家族で買い物中、ほかの野菜に比べて、